

「大きくなって戻っておいで」 (共催)

概要： 4校の児童が、小網代湾でマダイの稚魚の放流体験をした。 小学校3,5年生 総合



実施内容

1. **実施校** 三浦市立三崎小学校、岬陽小学校、名向小学校、剣崎小学校
2. **目的** 稚魚の放流を体験することにより、三浦の海で、マダイを卵から育て、稚魚を相模湾等に放流し、資源の保護に努めていることを知る。
3. **内容** 栽培漁業協会の方の説明を聞いた後、小網代パール海育隊の協力により、特製のシューターを使い、マダイの放流体験をする。
4. **日時** 平成28年 9月9,16日(金) 13:30~15:20
5. **場所** 小網代港
6. **参加者** 岬陽小5年38名、名向小3年54名、三崎小3年28名、剣崎小3年3名、小学校教員、研究所職員
7. **指導者** 神奈川県栽培漁業協会専務理事 今井利為 氏
8. **持ち物** 軍手、筆記用具、水筒

当日の様子

- 今井氏の説明では、海藻が魚や貝にとっていかに大切かを学んだ。児童は、メモを取って聴き、マダイの生態や養殖する理由など、多くの質問を出していた。
- 小パール隊の方から、稚魚の入ったバケツを受け取り、「元気で戻って来いよ」と声をかけながら、放流する姿が見られた。
- 放流が終わった児童は、大きな水槽に入っているアコヤガイを数えて、養殖用のネットに入れる選別作業を体験した。
- 水槽にいたアコヤガイ以外の貝や生き物についても、小パール隊の方によく質問していた。
- 三崎小については、乗船体験も行い、養殖場の実際の様子も見学した。